

あやなり

Bunkyo Pride

2022
7.8 発行

文教大学学園広報誌



リニューアル 第1号

特集 文教よりみち散歩

題字：豊口和士先生
文教大学教授

手形：文教大学学園在学生の皆さん

INDEX

- p.2 学園理事長の挨拶
- p.4 特集・文教よりみち散歩
- p.8 文教人INTERVIEW
- p.10 文教百花
- p.12 CROSS TALKS
- p.13 恩師便り
- p.14 学園NEWS
- p.16 CAMPUS REPORT
- p.18 校友会の輪
- p.20 文は人なり

表紙の作品



題字：豊口和士先生（p.11）
手形：在学生の皆さん

「育ての、文教。」という言葉が表す
想いが教職員から園児・児童・生徒・
学生へと伝わり、それぞれの個性が
交わり、認め合うことで、人間愛が
形成されていく様子を表現しました。

あやなり

Bunkyo Pride

文教大学学園広報誌

文教大学学園の在学生や保護者、卒業生など、

「文教人」の皆さまにお送りする広報誌、『あやなり-Bunkyo Pride-』。

文教大学学園の各校の情報や、文教人へのインタビューなどをお届けします。

「あや（文＝文教）は人なり」という想いを込めて、

そして Bunkyo Pride は、皆さまが文教人であることに誇りを感じていただけるように。

そんなメッセージが伝わる冊子を目指しました。

この一冊が、人と人、人と学園をつなぐ場であればと願っています。

あやなり-Bunkyo Pride-をお届けします

新型コロナウイルス感染症拡大やそれに
伴う社会情勢の変化を受け、皆さまにおか
れましてはこの災禍にあってご苦労が多い
ものと拝察し、心よりお見舞い申し上げます。

本学園では、新型コロナウイルス感染
症拡大防止および在学生・ご家族の皆さ
まの健康と安全の確保を最優先に対応し
てまいりました。現在、感染対策を行っ
たうえで対面授業を積極的に進めており、在
学生の明るい声が各キャンパスに響いてお
ります。

本学園では、これまで保護者の皆さま
へは学園広報誌『BP (Bunkyo Pride)』
で学園の情報をお届けし、卒業生の皆さ
まへは校友会報『あやなり』で卒業生のご
活躍や学園の現在の様子をお届けしてお

りましたが、2022年度より、この2冊の良
いところを合わせて『あやなり-Bunkyo
Pride-』としてリニューアルいたしました。
学園の情報や在学生・卒業生の活躍の様
子をお届けしてまいります。リニューアルさ
れた本誌が引き続き皆さまの交流のきっか
けになれば、と考えております。

学園は2022年に創立95周年を数え、
100周年という目標に向けて歩んでいます。
建学の精神であります「人間愛」を大切に
しながら、皆さまに誇りに思っていただけ
るよう、学園づくりにさらに取り組んでいく
所存です。今後とも一層のご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

それでは、『あやなり-Bunkyo Pride-』
をお楽しみください。

文教大学学園 理事長
野島 正也

令和4年春の叙勲
旭日中綬章受章

文教大学学園 2022年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設：1927年
園児数：139名
園長：保田 昇



所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel：03-3781-2798

文教大学附属小学校

開設：1951年
児童数：329名
校長：島野 歩



所在地：石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12 Tel：03-3720-1097

文教大学附属中学校・高等学校

[中学校]
開設：1947年
生徒数：482名
[高等学校]
開設：1948年
生徒数：875名
校長：銅谷 新吾



所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel：03-3783-5511（代）

文教大学・大学院

開設：1966年
教育学部：1,492名
人間科学部：1,731名
文学部：1,435名
情報学部：1,242名
健康栄養学部：404名
国際学部：1,114名
経営学部：717名
大学院：71名
専攻科教育専攻科：1名
外国人留学生別科：5名
〈合計 8,212名〉
学長：中島 滋



越谷キャンパス



湘南キャンパス



東京あだちキャンパス

所在地：
[越谷キャンパス]
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島3337
Tel：048-974-8811（代）

[湘南キャンパス]
〒253-8550
神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel：0467-53-2111（代）

[東京あだちキャンパス]
〒121-8577
東京都足立区花畑5-6-1
Tel：03-5686-8577（代）

特集

文教よりみち散歩

文教大学学園には5つのキャンパスがあります。キャンパスのあるそれぞれのまちには、趣の異なる表情があります。それぞれのまちを楽しめるスポットを探してみました。



旗の台

東急池上線旗の台駅は2019年にリニューアル。多摩産の木材が生かされたホームとなり、下り線側には長いベンチが復元されました。(写真提供：東急電鉄)

活気のある商店街に人が行き交う あたたかくやさしいまち

文教大学附属中学校・高等学校と文教大学附属幼稚園がある旗の台キャンパス。1929年に立正幼稚園と立正裁縫女学校が移転してきたときから、この地で多くの文教人が学びの時間を過ごしました。キャンパスに近い旗の台駅、荏原町駅周辺には多くの商店街があり、幅広い年齢層の方が行き交います。

味蕾庵

みらいあん

誰もが笑顔になるような家庭の味が自慢の惣菜店。油や食材にこだわったヘルシーであたたかい料理を手軽に楽しめる。650円で好きなおかずを2種類選べるお弁当が好評だ。

◇品川区旗の台3-14-2
☎03-3786-5209
◎11:00～20:00
◎土曜



旗の台駅からキャンパスに向かう曲がり角にあり、教職員もランチやイベントのお弁当をよく購入している。

キャンパス近くの旗の台北公園には子どもサイズのカエルがいるよ！



沖田精米

おきたせいまい

1921年から続く、地域の食を支えてきた精米店。生産者と直接契約した特別栽培米など、さまざまな産地や品種の米が常時10種類程度並ぶ。

◇品川区旗の台4-6-3
☎03-3781-6557
◎10:00～19:30
◎日・月曜、祝日



トキが野生復帰できるよう減農薬で栽培された「特別栽培新潟・佐渡コシヒカリ」(1,782円、3kg)など栽培方法にもこだわった米を取りそろえている。

旗岡八幡神社 はたがおかはちまんじんじや

「旗の台」の地名の由来と言われる、源氏ゆかりの歴史ある神社。境内にある絵馬殿は、国の有形文化財に登録され、多くの絵馬が残っている。

◇品川区旗の台3-6-12
☎03-3781-5800



HATANODAI CAMPUS 旗の台キャンパス



文教大学附属中学校・高等学校（現在）



文教大学附属幼稚園（現在）

中学校・高等学校と幼稚園が同じキャンパスにあるので、幼稚園の行事を中高生がサポートしたりとキャンパス内の交流も盛んです。



旗の台キャンパス正門（1965年）

かつては文教大学女子短期大学部や文教大学経営情報専門学校もありました。



立正幼稚園（1968年）



クボタ画材・文具

くぼたがさい・ぶんぐ

定番の文具から専門的な画材、季節の新商品まで豊富にそろ。附属中高生や地元の方々からの信頼も厚く、遠方から訪れる人も。



旗の台駅ができた1952年から現在の場所で営業を続けている。

◇品川区旗の台2-7-3 ☎03-3781-6831
◎10:00～19:00 ◎日曜、祝日



職員おすすめ GOURMET



餅うどん功刀屋 旗の台本店

もちうどんくぬぎや はたのだいほんてん

餅のような食感の麺がやみつきに。明太子クリーム餅(940円)をぜひ！

◇品川区旗の台2-7-4 ☎11:00～14:30/18:00～19:30
◎年末年始

Italian M's バル

いたりあんえむずばる

こだわりの肉料理に舌鼓♪ランチタイムのバスタも人気。

◇品川区中延5-7-11

☎03-6426-7176
◎11:30～14:00/17:00～22:00
◎不定休





石川台駅から小学校へと続く坂道。この地域は近くを流れる呑川の河岸段丘の上に位置し、趣深い坂道が多くあります。

石川台

閑静な住宅街の中に歴史を感じることができるまち

かつては中学校や女子高等学校があった石川台キャンパス。現在は文教大学付属小学校があります。キャンパスのある石川台駅周辺には住宅街が広がり、少し歩くとお寺や神社があり、歴史を感じることができます。

洗足池公園

せんぞくいけこうえん

都内屈指の広さがある洗足池を中心とした区立公園。池の周囲にある約1.2kmの遊歩道では、多くの人が散歩したり、景色を楽しんだりしている。小型ボートやスワンボートを借りて、水上でのんびり過ごすのもおすすめ。

〒大田区南千束2丁目



(写真提供：大田区)

池にかかる池月橋からは、桜や紅葉など季節の変化を楽しむことができる。

成田時計店

なりたとけいてん

長年この地で営業を続ける地域密着の時計・メガネ店。丁寧なアフターサービスに定評があり、通い続けるお客さまも多い。付属小学校の卒業式で贈られる皆勤賞等の記念品は、毎年このお店でご用意いただいている。

〒大田区東雪谷2-22-4
☎03-3729-0043
🕒10:00～18:00
📅日曜

お世話になっております！



店内で存在感のある振り子時計にはお店の名前が。今も現役で時を刻んでいる。

雪ヶ谷八幡神社

ゆきがやはちまんじんじゃ



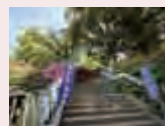
付属小学校から石川台の駅を越えたところにある。母子神の信仰があり、「安産」「健康長寿」「学業成就」「厄払い」の祈願に訪れる人が多い。大鵬関の手形が刻まれた石がありパワースポットとしても知られている。

〒大田区東雪谷2-25-1
☎03-3728-0753

お世話になっております！

恒例！

こいのぼりのお絵かき



ゴールデンウィーク期間に毎年開催される「こいのぼりのお絵かき」には付属小学校の児童も参加。色とりどりのこいのぼりが境内を彩る。



少し足を延ばして...

池上本門寺

いけがみほんもんじ

〒大田区池上1-1-1
☎03-3752-2331

日蓮宗を興した日蓮聖人が生前最後の日を過ごした場所で、日蓮宗の七大本山のうちの一つ。国の重要文化財「五重塔」をはじめとした多くの歴史的遺産がある。付属小学校の6年生が毎年写経を奉納している。



溝の口

開発が続くエリアに根付いている文教人たちに会えるまち

川崎市高津区の中心に位置し、駅の周辺には大型商業施設がそろう。一方で、昔ながらの飲食店や豊かな自然も残り、新旧のまちなみが混在しています。溝の口小学校・幼稚園は1985年に幕を閉じましたが、それから40年近く経った今も、多くの文教人がこの地とつながっています。

大山街道

おおやまかいどう

二子新地駅から溝の口駅にかけて通っている街道。溝の口小学校もこの街道付近にあった。今でも多くの卒業生や関係者のお店が街道沿いで元気に営業している。



シンプルであっさりとした昔ながらの醤油ラーメンがおすすめ。バラバラの半チャーハンとのセットは850円とお手頃価格でお腹いっぱい。

盛華楼

せいかりう

溝の口駅から歩いてすぐの、赤いテントが目印の昔ながらの中華屋さん。区役所が近く、お昼時は職員さんで大にぎわい。シンプルな雰囲気店内にはテーブル席もあり家族と一緒に食べに行くことも。

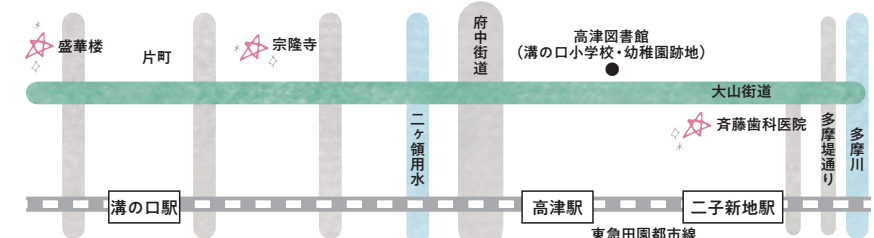
〒川崎市高津区下作延2-9-5
☎044-854-6488
🕒11:00～14:00、18:00～22:00
📅日曜、祝日

宗隆寺

そうりゅうじ

日蓮宗の寺の一つ。毎年10月21日に行われる御会式（おえしき）では日蓮宗の寺の中で3本の指に入るほどのにぎわいを見せる。大山街道に向けて多くの露店や万燈が並ぶ様子は圧巻だ。*2022年度の開催は後日決定

〒川崎市高津区溝の口2-29-1



斉藤歯科医院

さいとうしかくいん

〒川崎市高津区二子2-8-10
☎044-822-8391

1982年に開業した歯科医院。付属小学校の校医としてもお世話になっている。院長は溝の口小学校の卒業生でもあり、文教大学学園との長い縁がある。

🕒9:30～13:00、14:30～17:00
📅日・木曜、祝日

BUNKYO

YORIMICHI SANPO

ISHIKAWADAI & MIZONOKUCHI

溝の口キャンパス

1947年に立正学園中学校が建てられました。その後小学校や幼稚園も併設され、地域の教育を支えました。



立正学園溝の口旧校舎（1950年代）



新校舎の象徴だったモザイク壁画（1972年）



キャンパス跡地には記念碑と銘板が設置されています。

文教人

INTERVIEW

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。
在学生は約1万人、卒業生は14万人を超えます。
さまざまな分野で活躍する「文教人」たちの「文教魂」に迫ります。

卒業生



DAI OTSU

「楽しい」の先にある価値を提供する 「+α」のある水族館へ改革中

大津 大さん

【現職】横浜・八景島シーパラダイス
アクアリゾート 館長・獣医師
【卒業年】文教大学付属小学校（溝の
口小学校）1982年卒業

獣医師、そして館長として

獣医師である大津さんは、館長となった
今も、毎日、飼育するすべての生物を自分
の目でチェックすることを欠かさない。そし
て担当飼育員の報告をもとに、検査や治療
を行う。「水族館にとって、生きもののたち
の日々の健康管理はすべての基本です」
さらに、水族館全体の運営を管理する立
場として、横浜・八景島シーパラダイスのあ



子どものころから「イルカが馬に関わる仕事に就きたい」と思い、獣医師を目指しました。

るべき未来に向けて改革を進めている。「当
館はエンターテインメントの部分ばかりが
フィーチャーされる傾向にあります。もちろ
んそれも水族館の大切な一つの側面です
が、他の部分にも力を入れ、『楽しみ+α』
のある水族館を目指したいと考えています」

水族館の「4つの使命」を 果たすために

水族館には、①種の保存 ②調査・研
究 ③環境教育 ④レクリエーションの場
の提供 の4つの使命があるとされている。
大津さんは、これらの実践に向けて環境を
整えるために奮闘中だ。

「繁殖を計画的に行うこと（①）や、飼育・
管理に関わる知見を集めて他館と共有する
こと（②）は、当館だけでなく水族館業界
全体の発展にもつながります」。また、強み
であるエンターテインメントや生きものの
ふれあい（④）を通して、環境や生物の神
秘について考える機会を提供すること（③）

にも力を入れている。「ここに来れば海や生
物のことがわかるし、さらに興味も湧く、そ
んな場所でありたいですね」

4つの使命すべてを果たすべく力を注ぐ大
津さん。「小学校時代に教わった勉強の仕
方や努力の仕方が今も自分自身に根付いて
いて、目標に向かう時に、どうすればいい
か考える基礎になっているかもしれません」
と懐かしげに語ってくれた。

わたしの文教魂 交流

私の3歳年上の兄も同じ小学校出身。
兄弟姉妹で通う家が多く、親同士はい
まだ一緒にドライブに行ったり仲良く
交流しているようです。こうした関係性
が続くのが良さではないでしょうか。

卒業生



MAIKO KOZAKURA

聳塔祭実行委員での裏方の経験が 表舞台に立つ今に生きる

「大学時代の一番の思い出は？」と問われ
れば、真っ先に思い浮かぶのが、「聳塔祭
実行委員を務めたこと」と答える小桜さん。
「実行委員はとても忙しくて大変でした。で
も歌手という表舞台に立つことを目指してい
たので、裏方の大変さを知れたことは、スタッ
フの気持ちや立場を理解するうえでかけが
えない経験になりました」

歌手になってから、この経験が生きてい
ると感じたことがある。舞台で音響装置が
突然壊れる事態に遭遇した際、機材が直る
までマイクもない中、30分間お客さまに向
かって話し続けた。「楽しい場にしようとス
タッフが準備してくれたのがわかっていたの
で、嫌な思い出にしたいくないという一心でし
た。トラブルだって、気持ちの持ちよう。後

わたしの文教魂 人を思いやる心

聳塔祭実行委員を務めて、他人の立
場を考え、相手の気持ちをキャッチし
て行動することを学べたと感じています。
それが大勢の力を集めて一つの舞
台をつくる、今の活動に生きています。

information

小桜舞子コンサート
日時：2022年10月15日（土）
会場：湘南台文化センター市民シアター
（神奈川県藤沢市）

小桜 舞子さん

【現職】演歌歌手

【卒業年】

文教大学女子短期大学部家政科
1999年卒業

で笑うことができればそれでいいんじゃない
かな」

今後の目標は、「聴く人の心に温もりを残
す歌手」になること。「自分の経験というフィ
ルターを通して、はじめて歌の心を伝え
ることができるのだと思っています」と言
う。多くの経験を通して人の心を知り、思い
のをせて歌を歌い続けていく。

わたしの文教魂 人間愛

建学の精神であるこの言葉を、ぶんこ
食堂の活動で実感しました。先生方の
協力、温かい手をさしのべてくれる仲
間たち、そして地域の人たちとの関わり
を通して、人間愛の大切さも学びまし
た。

取材にご協力いただいた「ぶんこ食堂」メンバー：
前列左から玉城恵斗さん（2年）、内田イオナさん
（4年）、樋山莉佳子さん（4年）、二宮敏枝さん
（4年）。後列左から相田悠良里さん（3年）、
登坂みのりさん（2年）、阿部敬太さん（4年）

在学生



BUNKO SHOKUDO

「何か行動を起こしたい！」 学生たちの手で立ち上げた子ども食堂

新型コロナウイルス感染症拡大という、
未曾有の出来事が起こって今年で3年目。
そんな最中であってお弁当の提供を行う「ぶ
んこ食堂」を立ち上げたのが、国際学部
の内田イオナさんと二宮敏枝さんだ。子ども
の貧困について社会で取り上げられるよう
になって久しいが、コロナ禍によって家計が
急変し、一日3食、食べることができない子
どもたちのニュースを見た内田さんが同級

生の二宮さんに声をかけた。
「何かしたい!という思いからでした。海
外の子どもの貧困について勉強したくて
文教大学に入学したのですが、日本でも
貧困から食事に困っている子どもたちがい
ること、大学周辺に子ども食堂がないこと
を知り、行動を起こしたいと思いました」
当初の計画では、食事を提供するととも
に、宿題をみるなどの学習支援も行う予定

ぶんこ食堂

【代表】

内田 イオナさん
文教大学国際学部国際理解学科
4年

だった。しかし新型コロナウイルスの感染
拡大によって実施が難しくなり、お弁当の
提供に切り替えた。現在のメンバーは10名。
お弁当づくりは花畑地域の学習センター調
理室で行い、毎月第二日曜日のお昼にキャ
ンパス内の食堂で地域の人たちを待つ。お
弁当を受け取る子どもたちの笑顔が何より
の宝物である。

文教百花

学業で、課外活動で、
仕事で、趣味で…
重ねてきた努力が実りました。

※スポーツ・学術優秀功績者表彰制度
学校法人文教大学学園が主催。スポーツ、文化、芸術などの広い分野で学園の
名を全国的に広め、顕著な功績を挙げた個人や団体を表彰する。

強い信念と猛練習で日本一に輝く

全国珠算競技大会「そろばんクリスマス
カップ2021」英語読上算競技小学3・4年
生の部で日本一に輝いた伊東慶人さん。「絶
対に日本一になる」という強い信念を貫き、

週2回6時間もの猛練習で頂点に立ったの
です。「運では勝てない。練習をどれだけやっ
てきたかが結果につながります」。幼稚園の
時から教室に通い始め、正解すると先生が
ほめてくれて練習が楽しくなりました。自分
より力が上の人に勝つことが、現在の原動

力となっています。2021年度に小学生では
初の「学校法人文教大学学園スポーツ・学
術優秀功績者」に選ばれ、「ここまでが
んばってきてよかったと達成感でいっぱい
です」と胸を張る伊東さん。さらなる高みを目
指して挑戦は続きます。

スポーツ・学術優秀功績者*



伊東 慶人さん
Keito Ito

文教大学付属小学校4年

全国珠算競技大会日本一

そろばんクリスマスカップ 2021
英語読上算競技 (小学3・4年生の部)

読上暗算・読上算・英語読上算・フラッシュ暗
算の4部門すべてを競う大会。英語読上算競技
は、英語で読み上げられた数字を計算するもの
で、暗算と英語を聞き取る力が必要になる。

一番得意なのは
フラッシュ暗算です!



表彰のポイント

稲葉慶さんは、3年生で実用英語技能検
定2級に合格し、2021年度に小学生として
は初めて「学校法人文教大学学園スポーツ・学
術優秀功績者」に選ばれました。「表彰
式では初めて理事長先生に会って緊張しま
した」と笑顔がこぼれます。

準2級には2年生で合格、2級は2回目の
挑戦でした。1回目の受験を冷静に振り返り、
「問題傾向がわかったので対策も見えてしま
した」と毎日取り組む問題の種類と数を決
めて根気強く勉強を重ねました。二次試験
では社会性のあるテーマが出題され、思考

力も問われますが、「テーマ自体も、それに
ついて考えることも楽しかった」と余裕さえ
うかがえます。海外で活躍する日を目標に、
次は1級合格に挑戦します。

スポーツ・学術優秀功績者*



稲葉 慶さん
Kei Inaba

文教大学付属小学校4年

実用英語技能検定 2 級合格

2級は高校卒業程度のレベル。一次試験ではリー
ディング、ライティングとリスニング、二次試験で
は面接形式のスピーキングテストが行われる。小
学生以下の受験者は2021年で全体の10%以下。

海外で英語が苦手な人を
サポートする仕事をしたいです



表彰のポイント

書道部



白と黒の世界で自分自身と向き合う

旗の台キャンパスLOTUS HALLのホワイ
エにずらりと並ぶ書き初め大会の作品。な
かでも長文の漢詩を見事にまとめあげてい
るのが、大塚佑実子さんの作品です。今春
まで書道部の部長として活動し、この作品
の題字は新春をテーマに顧問の先生と相談
して選びました。

幼稚園から書道を続け、数々の大会で入
賞してきた大塚さんにとって、書の面白さとは
「自分の内面が筆に出てしまうところ」。気持
ちをどう切り替え、作品と向き合うか—その
ために自分自身と対峙する過程が、書道を
続ける醍醐味だと語ります。

「一生続けていきたい」という書道ですが、
高校卒業までは受験のためお休み中。「大学
に入ったら再開し、サークルにも入って、書
道パフォーマンスなどにも挑戦したいです」

大学に入ったら
「師範」を目指します!



大塚 佑実子さん
Yumiko Otsuka

文教大学付属高等学校3年

書道部の思い出

書道パフォーマンス

音楽に合わせて巨大な紙に作品を書き上げる「魅せる」書道。部員全
員でアイデアを出し合い、練習を繰り返し、新入生歓迎会や文化祭で、
迫力あるパフォーマンスを披露した。

自身と向き合うこと、それが書を学ぶ意味

文教大学学園理事長室に掲げられた「人
間愛」の書。この書を揮毫した豊口和士教
授は、書家としても独自の作品発表・作品
展開を行ってきました。師から手ほどきを受
けるのではなく、自分の表現を模索して創
造していく道を選び、書いた文字を見れば、

豊口の字だとわかると言われる表現を展開
し続けています。

また、書道と書写・書道教育をテーマに
研究を続け、書の美を探究するとともに、
文教大学文学部では書道ならびに書写・書
道教育の授業の教鞭をとっています。授業

書道、書写・書道教育

では、教員養成系の科目を担当するほか、
学生たちに書を通して「何を表現したいの
か」を問い続けます。ゼロから自分が表現
したいものを形にしていくなかで、書の美を捉
え、感受性を養い、自身と向き合うことこそ
が、書を学ぶ意味だと語ります。

書で大切なのは余白。
人生や生き方にも
通じる気はしませんか?



豊口 和士先生
Kazuo Toyoguchi

文教大学文学部教授
書家

学外での活動

教科調査官

文部科学省・文化庁の教科調査官とし
て、高等学校芸術科書道の学習指導要
領の改訂等に携わり、教育行政の立場
から教育現場の指導・支援をしている。



表紙の書「育ての、文教。」は豊口先生に揮毫いただきました。

CROSS TALKS

教え子が文教大学の学長に

近藤 三世代、といったら語弊があるかもしれませんが、文教大学教育学部で40年教鞭をとられていた松澤先生、その教え子で教育学部を卒業して母校の教員になった近藤、近藤の教え子で現在附属中学校・高等学校教諭の五十嵐先生、同じく附属小学校教諭の木村先生にお集まりいただきました。五十嵐先生は松澤先生にも習っているね。

五十嵐 はい。入学当初「福島の高校を一番の成績で卒業した」とみんなの前で紹介していただきまして、なんていい学校なんだと思いました(笑)。

近藤 松澤先生の紹介では、みんな首席卒業(笑)。そうやって松澤マジックにかか

松澤 僕は文教大学が大好きなんです。どの学生も人懐っこくて素直な学生ばかりでしたね。近藤君の印象はとにかくまじめ。彼は大学院を卒業して山形県の鶴岡工業高等専門学校に勤めて、僕は鶴岡まで訪ねて行きました。そこで教育に対する真剣な思いを聞き、彼に大学に帰ってきてほしいと、僕の気持ちを伝えたんですね。彼のような人材が文教には必要だった。その彼が学長までやってくれて、誇らしく感じています。

近藤 まじめだなんて言うと、僕を知っているすべての者から叱られますよ(笑)。

学生は自分の子どもだと思って…

五十嵐 僕は上越教育大学の大学院時代に、近藤先生から附属校の採用試験を受けてみないかと言われ、電話口で「受け

ます」と即答しました。無試験で入れるのかと思ったら四次試験まであってびっくりしましたが、近藤先生にお声をかけていただき、今の自分があるんですね。

木村 私は附属小学校の教科専門の採用試験を受けて採用になり、講師から専任教員となりました。採用になった時は近藤先生がすごく喜んでくださって。

近藤 うれしくて仕方がなかった。1年生の頃の彼女を知っていたら、みんな驚きますよね。

木村 私は文教に入って初めて人のやさしさを知ったというくらい、ギスギスした生活環境で生きてきたんです。毎日生きるのに必死という状況で、そんな私に声をかけてくれたのが近藤先生だったんですね。

松澤 そうでしたか。

木村 そんな私が教員になるなんて自信はなかったのですが、そういう経験をしていることが教育に生きてくると言ってくださって教員の道を目指しました。

松澤 僕は常に、学生を自分の子どもと同様に思っていて接してきました。その考えが近藤君につながっていることを今日知り、感動しています。

連綿と続く「育ての、文教。」

近藤 文教大学の学生は「いい子が多い」と言われますが、最初からいい子が入ってきたわけではありません。悩みながら入学しても、自分のあり方が肯定でき、居場所を見つけられるように、先生方や先輩方が接してくださったおかげで、自分の個性が精一杯発揮できるようになる

からです。僕が入学した頃は越谷キャンパスしかなくて、狭い大学に学生がいっぱいいた。学生と先生の距離も近くて、よく一緒にお酒を飲んでいましたよね。

松澤 昔は北越谷に飲み屋が二軒しかなくて、どちらかに顔を出すと必ず誰かがいて飲み会になりました(笑)。

近藤 ムーミン谷みたいな感じ(笑)。お節なぐらいのふれあいがあふれていて、それが学生を育てていったのだと思います。

松澤 建学の精神の「人間愛」もそういうところからきていますね。

近藤 はい。そして今「育ての、文教。」という言葉を使って大学を紹介しているのですが、それは松澤先生の時代から築かれたものだと思います。

木村 附属小学校では「育ての、文教。」という表現はしませんが、教員と子どもの距離が近くて、子どものことを考え、子どものために時間をかけているなど感じます。そういえば、大学の先生たちもそうだったなと思うことがたくさんありますね。

五十嵐 中高も面倒見のよい教員がそろっていますね。大学受験まで生徒の伴走者として最後まで一緒に走り抜こうという先生が多いです。

近藤 学生に対してかける時間と手間とお金は惜しんではいけないと、僕は松澤先生から教わりました。

松澤 そうした精神が学園全体に「文教らしさ」として貫かれている。本当にうれしいことです。

近藤 研至 先生
Kenji Kondo

文教大学教育学部教授
2017年～2021年文教大学学長
文教大学教育学部1986年卒業

文教はムーミン谷
みたいです(笑)

僕は文教大学が
大好きなんです

文教で人のやさしさを
知りました

木村 かなえ 先生
Kanae Kimura

文教大学附属小学校教諭
文教大学教育学部2016年卒業

松澤 信祐 先生
Shinsuke Matsuzawa

文教大学名誉教授
元文教大学教育学部教授

面倒見がよいのは
文教の伝統ですね

五十嵐 彰 先生
Akira Igarashi

文教大学附属中学校・
高等学校教諭
文教大学教育学部1996年卒業

先生!
お久しぶりです!

恩師便り

かつて文教大学学園で教壇に立っていた懐かしい恩師の方々に
近況と文教時代の思い出を語っていただきました。



教え子たちのことは
今でも「どうして
るかな」と気になり
ます。時々会うこと
もありますよ。



栗山 さえ 先生
Sae Kuriyama

1973年文教大学附属中学校・高等学校教諭に就任。理科(専門は化学)を担当するほか、演劇部や体操部の顧問を務める。2014年に退職。現在は日本語を教えるボランティアに参加している。

何事も真剣に向き合うと、人は成長する

私が就任した当時、附属中学校・高等学校は女子校。共育育ちの私は女性ばかりの雰囲気には驚きました。当時は男性がやるものという風潮があった文化祭の実行委員長も、当然女性が担います。ある年、私には「彼女には荷が勝ちすぎているんじゃないかな」と感じられた生徒が実行委員長に選ばれたのですが、さまざまな経

験を経て、みるみる頼もしく変わっていったんです。その姿を見て、生徒一人ひとりがもつ「成長する力」の逞しさや、授業以外の行事で得られるものの大きさに気づくことができました。

授業でも「体験させること」を大事にしていました。私が担当する理科は、「理科離れ」なんて言われていますが、「実験は

好き」と言う生徒は多かったんです。そこで教科書の手順をなぞるだけでなく、マッチの使い方など日常生活でも役立つことをきちんと伝えるようにしていました。

退職後の今は、外国人の方々に日本語を教えるボランティアをしています。コロナ禍が終息したら、すでに母国に戻った教え子たちに会いに行きたいですね。

佐藤 啓子 先生
Hiroko Satou

文教大学名誉教授。1970年立正女子大学家政学部就任。1976年人間科学部の設置に伴い人間科学部人間科学科へ。「家庭教育論」「生涯学習の方法」など家庭教育、人間関係、男女共生、生涯学習などの学問領域を担当。2012年退職。

お祝いや記念日などの
折々に、学生たちから
プレゼントをいただき
ました。温かいメッセ
ージ付きのぬいぐるみ
うれしかったです。



学生と共に学び、成長して今の私がある

立正女子大学短期大学部で講師だった2年間を入れると44年間、文教大学学園にお世話になりました。立正女子大学に入ってから、文教大学への校名変更や共学化、家政学部から人間科学部への改組を経験。なかでも男子学生が入ってきた時には、少なからず衝撃がありました。実は居酒屋でお酒を飲むことを覚えたのは

男子学生のおかげ(笑)。世間知らずの私が学問以外の世界や学校以外の社会を知り、人間的に成長できたのは、学生たちとの深い関わりがあったからだと思っています。

人間としての尊厳を守る。これが教員として心がけてきたことですね。まずは学生の意見を受け止め、学習意欲につながるよう努力や工夫を認める言葉をかけたり、

「こうしたらよくなる」といったアドバイスをしたり。教員と学生も人間同士のつきあいですから、よりよい関係を築き、その中で学習し成長してほしいというのが私の目指していたものです。

人は人から学び、育てられます。44年間を振り返れば、文教大学全体にまさにそうした土壌があったと感じます。

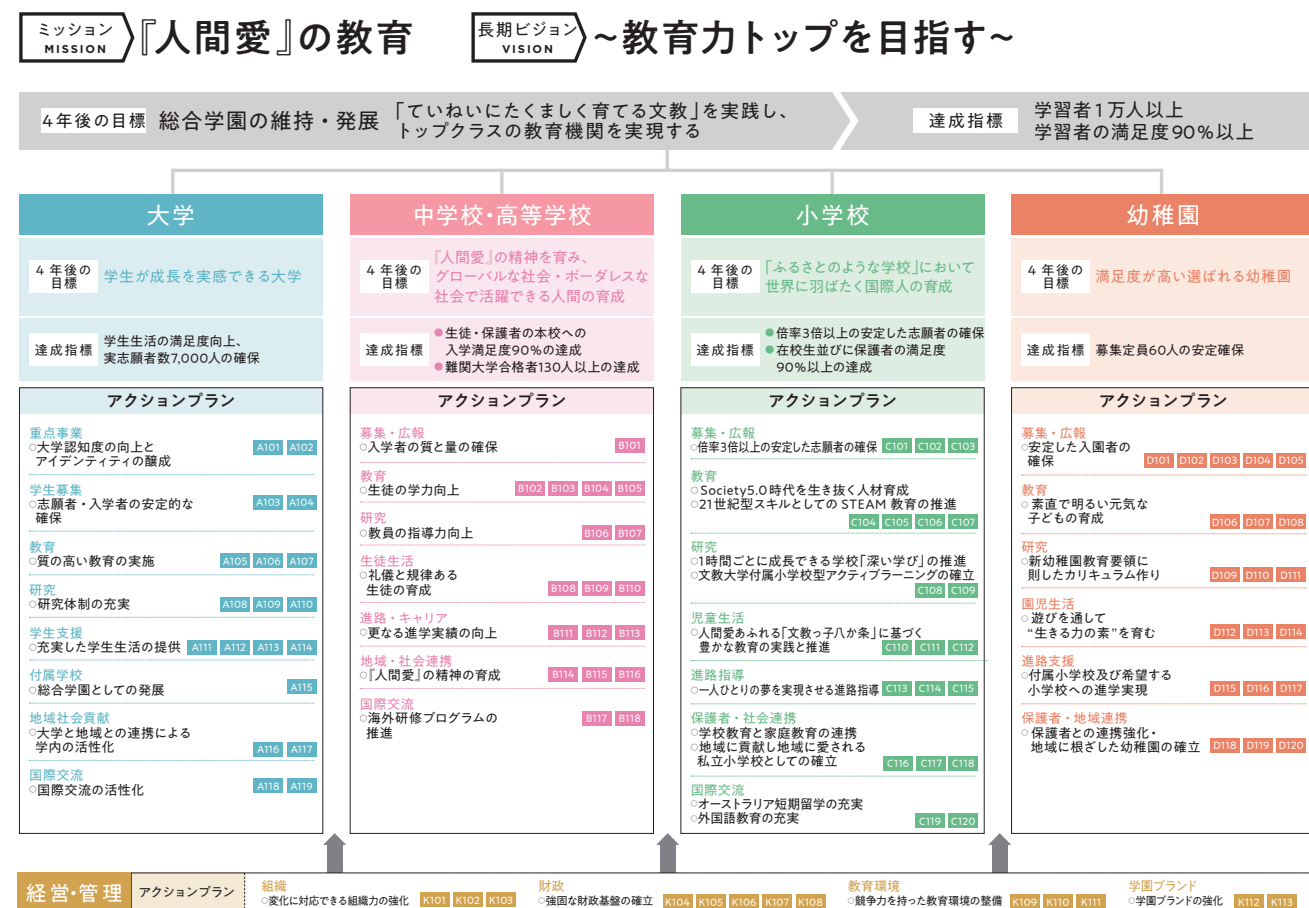
2009年度より文教大学学園は、学園経営戦略(中期経営計画)を実施。
今期は、「BUNKYO ACTION PLAN 2025」として
2021年度に策定した中期経営計画をスタートさせ、学園改革を継続的に進めていきます。

2021年度から新たにスタートした中期経営計画「BUNKYO ACTION PLAN 2025」は、これまで実施してきた学園経営戦略の総括を踏まえ、学園のミッション「『人間愛』の教育」およびビジョン「教育力トップを目指す」を継承し、第3次中期経営計画(2017～2020年度に実施)において実行した「各

校の改革の実質化を図るために、各校の主体性を重視し、各校における具体的な目標や事業計画(アクションプラン)を主体となる各校が策定・実行、経営は組織や財政、教育環境等の面で各校を下支えする構造」の枠組みを踏襲しながら、浮かび上がった各種課題を改善し、より教職員が主体的に

推進できる計画としています。学園の達成指標を実現するために、各校単位で4年後の目標と達成指標を掲げ、カテゴリーごとに「4年後の具体目標」が示され、「アクションプラン、具体的な取り組み内容、実施スケジュール、実行体制、各アクションプランの達成指標等」を策定しています。

●BUNKYO ACTION PLAN 2025 ビジョンマップ



大学

少人数で密度の濃い学びに高い実績と定評を持つ「教育力の伝統校」の系譜を未来へとつなげるため人間愛・人と人との絆・SDGsへの貢献を教育研究の柱とし、更なる進化と発展を目指しています。

幼稚園

創立から90余年の歴史を持つ幼児教育のパイオニアとして「認める・見守る・ともに楽しむ」という文教スタイルを保護者の皆さまと共有しながら保育・指導を実践し子どもたちを健やかな成長へと導きます。

中学校・高等学校

時代を越えて変わらない『人間愛』の精神と変化の激しい時代の中で未来を切り開く知性を兼ね備えた生徒を育成するためのさまざまな教育施策を実施し、新しい教育のかたちに挑み続けています。

経営・管理

信頼され、支持され、愛される学園として選ばれ続けるための基盤を一層確かなものとするために教学・経営の緊密な連携による安定したマネージメントと文教ブランドの強化に取り組んでいます。

小学校

「ほがらかに たたく きよく あたたかく」の校訓のもと豊かな心と確かな学びを得られる教育を目指して、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し・伸ばす「学びを創る学校」を希求しています。

「BUNKYO ACTION PLAN 2025」の詳細は、以下 URL よりご確認ください。
https://www.bunkyo.ac.jp/academy/information/action_plan2025/



EVENT情報

卒業生・在学生・保護者の皆さまにご参加・ご協力いただきたいイベントの情報です。
 たくさんの方のご参加をお待ちしております!!

2022年度 文教大学学園 校友の交流イベント

詳細は、別紙のチラシでご確認ください!!

日程・2022年11月5日(土) 場所・文教大学 東京あだちキャンパス

2021年4月に開設した文教大学「東京あだちキャンパス」を皆さまにぜひご覧いただきたく、キャンパスを会場に交流イベントを実施します。当日は、キャンパスツアーの他、重要無形文化財総合指定保持者の能楽師・辰巳満次郎氏や人間国宝の小鼓方・大倉

源次郎氏による「能の実演とワークショップ」も行い、日本文化に触れて楽しんでいただく企画も準備しています。卒業校別のサロンも用意いたしますので、学生時代を思い出しながら交流を深める機会にしていだけますと幸いです。



文教大学 東京あだちキャンパス



辰巳満次郎氏



大倉源次郎氏

『あやなりーBunkyo Prideー』表紙絵コンテスト

募集期間・～2022年12月20日

『あやなりーBunkyo Prideー』の表紙絵を募集します! 最優秀賞は、2023年度『あやなりーBunkyo Prideー』の表紙となります。学園関係者の皆さまはどなたでも応募できます。『あやなりーBunkyo Prideー』Webサイトをご覧ください、ぜひ応募してください。

過去の表紙作品の例



文教大学学園 「思い出フォト」の募集

募集期間・～2023年3月31日

文教大学学園在学時の思い出写真を募集します。お送りいただきました写真はイベントで掲示する他、『あやなりーBunkyo Prideー』誌面やWebサイトなどでも紹介します。写真にまつわるエピソードも併せてお送りいただけますとうれしいです。『あやなりーBunkyo Prideー』Webサイトをご確認いただき、ぜひご協力ください!



リニューアルしました!

『あやなりーBunkyo Prideー』Webサイトもお楽しみください

<https://www.bunkyo-ayanari.jp/>



取材時のオフショットなど本誌に掲載できなかった情報も盛り込み、学園の「今」や文教人の活躍を、見やすく・わかりやすくお届けしています。過去の『あやなり』もこちらからご覧いただけます!



卒業生のお店に行こう!!

「訪ねる Shops & Restaurants」コーナーでは、卒業生のお店を紹介しています。文教人の活躍するお店をぜひ訪ねてみてください。



1年を振り返る／ CAMPUS REPORT

今年も各キャンパスでさまざまなできごとがありました。園児、児童、生徒、学生たちはそれぞれの学び舎で経験を重ね大きく成長していています。子どもたちが過ごした1年の足あとをたどります。



文教大学付属小学校

TOKYO GLOBAL GATEWAY (3年生～6年生)

2021年6月8日(火)、2022年3月1日(火)

2021年度も、TOKYO GLOBAL GATEWAYで英語を使った体験型学習を行いました。マスク越しでも、児童たちは一生懸命エージェントさんの顔を見て、聞いたり話したりと積極的に挑戦。英語でコミュニケーションが取れる喜びを感じながら、会話を楽しんでいました。2回目(3月)は1回目(6月)から期間が空きましたが、その分の成長を児童たち自身でより強く実感することができたようです。

文教大学付属小学校

北アルプス自然教室(6年生)

2022年3月2日(水)～5日(土)

3泊4日で北アルプス地域各所を訪れ、その土地ならではの歴史や文化に触れました。1日目は井波彫刻総合会館で木彫り体験、2日目は高山祭屋台会館で高山祭や町の歴史を学んだ後、上三之町を散策しました。3日目は世界遺産の五箇山・白川郷の見学とスノーシューハイクを行い、4日目は氷見でかまぼこ作りをしました。宿泊地の湯神子温泉や各地で特産品に舌鼓を打ち、卒業前に良い思い出づくりができました。



文教大学付属中学校・高等学校

校外学習(中学3年生)

2022年4月25日(月)

箱根の芦ノ湖で、班ごとにトレジャーロワイヤル(宝探し)にチャレンジしました。班員全員で問題を解き、GPSなどを使って隠された財宝を探し出しました。互いに注意し合ったり助け合ったりしながら、アクティビティに取り組み、「クラスの親睦を深め協力する」「中学3年生としての自覚を持ち行動できるようにする」という、校外学習の目的を果たすことができました。午後は海賊船(遊覧船)に乗船し、芦ノ湖の景色を楽しみました。



文教大学付属中学校・高等学校

白蓉祭

2021年11月20日(土)・21日(日)

対面式での開催は2年ぶりとなる白蓉祭。例年の9月から2か月遅れとなりましたが、生徒たちにとっては待ちに待った開催でした。感染症対策も万全に行いながら、クラスごとに協力して、みんなで楽しめる出し物やイベントの企画・準備に取り組みました。当日は、在校生の保護者やご予約いただいた受験生とその保護者の方にも参観いただき、生徒たちは一生懸命に盛り上げていました。



文教大学付属幼稚園

生活発表会

2022年2月19日(土)

1年間の集大成を披露する「生活発表会」。松組(5才児)は「バグズフェスティバル」で、ブルーインパルスや虫さんたちのダンスを、見事に役になりきって踊りました。梅組(4才児)は世界のダンスを盛り込んだ「せかいのバナナ」。そして、マツケンサンバでお客さまを魅了しました。ひよこ組(3才児)はかわいい動物たちになって「フルーツケーキをつくろう」に挑戦しました。どの組も有終の美を飾るすばらしい発表でした。



文教大学

第37回聳塔祭・第1回華又祭 (湘南キャンパス・東京あだちキャンパス)

2021年10月30日(土)・31日(日)

コロナ禍のため学園祭が中止となった2020年。その先輩たちの思いを引き継ぎつつ、2021年は2キャンパスの力をあわせたオンライン配信という新しい形で、「Renew Duet」のテーマを掲げて開催しました。当日は、お笑いライブ、トークショー、ギネスチャレンジなど見て楽しんでいただける企画や、クイズ大会、ビンゴ大会といった視聴者がリアルタイムで参加できる企画などを盛り込み、今までとは違った学園祭をつくりあげました。

文教大学

第54回藍蔦祭 (越谷キャンパス)

2021年10月29日(金)～31日(日)

2021年のテーマは「CANVAS」。「新しい形の藍蔦祭を一人ひとりが自由に彩れますように」という意味を込めました。コロナ禍のため、ハイブリッド(有観客での対面開催およびオンライン配信の併用)形式で開催。さまざまな団体が工夫を凝らし、対面形式でのステージ発表やクイズ&謎解き大会などイベント、発表動画の配信など、3日間にわたり、CANVASいっぱい一人ひとりの輝きが広がりました。



文教大学

小学校教員採用者数全国第1位! 中学校教員採用者数全国第2位!

2022年4月15日発売、『大学ランキング2023』(朝日新聞出版)によると、教員採用数は以下の通りでした。

小学校	中学校
国公立 全国第4位(277人)	国公立 全国第3位(119人)
15年連続 私立大学 全国第1位	私立大学 全国第2位
1 北海道教育大 314人	1 日本大 147人
2 愛知教育大 289人	2 北海道教育大 136人
3 福岡教育大 281人	3 文教大 119人
4 文教大 277人	4 愛知教育大 103人
5 大阪教育大 213人	5 岡山理科大 90人

【出典】朝日新聞出版「大学ランキング2023」。私立大学 小学校教員・中学校教員採用者数において。(文教大学調べ)

入試関連イベント

幼稚園

入園説明会

9/3(土)
10:00-11:30



小学校

学校説明会

9/17(土) 授業公開 8:30-
説明会 10:30-
個別相談会 11:40-



中学校・高等学校

学校説明会

9/3(土) 中学校 14:00-15:00
高等学校 10:30-11:30



大学

オープンキャンパス

9/18(日) 越谷キャンパス 11:00-15:00(予定)
東京あだちキャンパス 11:00-15:00(予定)

9/25(日) 湘南キャンパス 11:00-15:00(予定)



校友会の輪

文教大学学園

2012年に発足した「文教大学学園校友会」は各校校友団体の連合体です。校友同士の輪(和)の形成を目指しています。

文教大学 藍蔘会

会 員 数：45,566名
 問合せ先：[藍蔘会事務局]
 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
 TEL 048-974-8811 FAX 048-979-6644
 Mail aitadekai@stf.bunkyo.ac.jp
 HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/

藍蔘会は大学の同窓会として1973年、当時の立正女子大学(旧称)の卒業生により発足されて以来、卒業生の拠り所として、また、母校の発展を願い活動を続けています。昨年度もコロナ禍により例年通りの活動はできませんでしたが、長年続いてきた会の活性化を図るために、会則の改定や活動・運営の見直し等、将来を見据えた内容を臨時役員会を何度も重ねて検討してきました。今年度も本来の活動は難しい状況ですが、必ず卒業生の皆さまと再会できることを願って、その日を楽しみに地盤固めをしています。



臨時役員会の様子

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会 員 数：30,157名
 問合せ先：[芙蓉会事務局] (月曜日・火曜日・木曜日開室)
 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
 TEL 0467-52-4075 FAX 0467-52-4075
 Mail fuyou@bunkyo.ac.jp
 HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/

芙蓉会は旗の台キャンパスと湘南キャンパスの短期大学部卒業生を会員に持ち、閉学後も会報などを通じて会員の絆を大切にしています。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、思うように交流活動ができませんでしたが、本年は10月に定期総会と懇親会を横浜で開催します。楽しく親睦を深めていただけるように企画しています。また現在、ホームページのリニューアルの準備も進め



会報『芙蓉』

ています。今後とも会報やホームページを通して会員の皆さまとの絆を大切にしながら活動を行ってまいります。

EVENT

定期総会と懇親会

日時：2022年10月23日(日)
 総会11:00- 懇親会12:00-
 場所：崎陽軒本店(横浜)
 参加費：2,000円
 問合せ先：芙蓉会事務局

3年ぶりとなる懇親会はおいしいお料理を囲み、卒業生で演歌歌手の小桜舞子氏の楽しいトークと素晴らしい歌声をお楽しみください。笑顔で懐かしいひと時を一緒に過ごしましょう。多数のご参加をお待ちしています。詳細は会報『芙蓉』(9月初旬発行予定)をご覧ください。

文教大学付属高等学校 三蓉会

会 員 数：24,730名
 問合せ先：[三蓉会事務局] (木曜日開室)
 〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
 TEL 03-3784-0524 FAX 03-3784-0524
 Mail sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

卒業生・教職員・在校生の3本の柱で学校を支え、母校の発展に寄与することを目的としており、在校生や学校行事に協力しています。入学時には校歌CDやシューズケース、卒業時には入会記念として図書カード、創立周年時にはオリジナルの記念品等を寄贈しております。コロナ禍により同窓会が延期になっておりますが、今年は劇団四季の観劇会を予定しております。詳しくは三蓉会会報をご覧ください。



三蓉会オリジナルグッズ

文教大学付属小学校 同窓会

会 員 数：2,444名
 問合せ先：〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
 TEL 03-3720-0792 FAX 03-3720-1117
 Mail bersc_2008@yahoo.co.jp
 HP www.ikd2008.com

矢野元校長先生の熱い思いから2008年に誕生した同窓会も、55名が卒業し、66期生を迎えました。今年のフェスティバルは残念ながら来年に再延期となりましたが、来年笑顔でお目にかかれることを心より祈っております。



文教大学父母と教職員の会

会 員 数：8,212名(正会員/在学生 大学院72名、専攻科1名含む)、339名(教職員会員)、100名(賛助会員)
 問合せ先：
 [父母教越谷事務局]
 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 TEL 048-974-8811 内線1051
 [父母教湘南事務局]
 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 TEL 0467-53-2111 内線3640
 [父母教東京あだち事務局]
 〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1 TEL 03-5686-8577 内線6852
 Mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
 HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/

本会は、設立46周年を迎えました。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、年3回の会報発行、学生の諸活動や生活および就職対策支援、100円朝食の共催、父母のための一日大学、親と子の進路問題研修会といったイベント開催等、さまざまな活動を行っています。学生が卒業した後も、保護者が賛助会員として、会を支えています。



創立40周年記念事業として作成した父母と教職員の会のロゴです。文教の頭文字「b」をモチーフに、学生と父母と教職員が寄り添い、「人間愛」の理念が伝わるやさしい色合いになっています。

文教大学付属(溝の口)小学校校友会

会 員 数：400名
 問合せ先：〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子1-11-23 (飯島商店内)
 TEL 090-4605-5320 (代表幹事/第17回生・矢内義道)
 Mail kouyukai@yannet.biz
 HP http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/

2021年で溝小は創立から70年が経過いたしました。現在は母校が無く、卒業生も増えない現状ではありますが、可能な限り活動を進めていきたいと思ひます。新型コロナウイルスの影響でここ数年間は何もできない状況ではありますが、沈静化する時を見据えて、運営委員会では定期的会合を開き、さまざまな企画を考えております。その時は、皆さまご参加ください!!



運営委員会の定期会合

文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

会 員 数：47名
 問合せ先：[文教森の会事務局 林文子]
 〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
 TEL 090-6015-8282
 Mail fmk235hys@gmail.com

2013年11月の第1回総会を皮切りに、親子三世代が参加できるイベントを毎年開催。2021年度は6月と3月に、越谷キャンパス前の“元荒川土手を散策するオリエンテーリング”を行いました。コロナ禍のため南荻島自治会“みずべのアトリエ”を借用し、会作成の冊子「元荒川の観察BOOK」を片手に、生物に関する問題を解いて撮影したり土手のゴミを拾ったりと楽しい時間を過ごしました。今年度は、会則を見直し斬新なイベントを企画中です。



元荒川土手を散策するオリエンテーリングに参加の皆さん

文教大学ビジネス同友会

会 員 数：260名
 問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
 TEL 04-7145-5036 FAX 04-7145-5036
 Mail bunkyo.bd@gmail.com
 HP http://bunkyobiz.net/

さまざまな職場で日々奮闘する同窓生が、縦横の繋がり、親睦を深めています。新入社員から60歳超のベテランまで、短大を含む全学部の文教OB、付属校卒業生が会員です。相互の交流から新しいビジネスが生まれたり、転職や再就職の芽を掴んだりできる同友会です。キャリア支援課と協働、継続している在学生支援はしっかり定着しましたが、さらに発展させて本会独自の「就活カタリバ」をスタート。後輩たちも支えていきます。



総会もオンラインで。顧問就任の中島学長も参加

文教大学学園退職職員の会

会 員 数：58名
 問合せ先：〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2
 TEL 03-6410-9943 (担当：鈴木)

文教大学学園(旧立正学園)の職員であったことの喜びと栄誉を持つとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に発足しました。再び活動できる日まで情報収集を行っていきます。



文は人なり



読者の皆さまの「文」でつくるページです。

今回のテーマ わが町自慢！

私の町には埼玉西武ライオンズがあります。2021年にリニューアル改修し魅力的なボールパークに生まれ変わりました。ぜひ、一度足を運んでください。お待ちしております。

文教大学付属高等学校卒業
レオライナーさん

卒業以来40年間海陽町職員として勤務。自然豊かだけど何も無いわが町に、世界初の乗り物DMVが走ることに。夢と希望の『デュアル・モード・ビークル』。穴喰駅では『伊勢えび駅長』が皆さまをお待ちしております。

文教大学卒業
西澤 桂さん

駅直結の市立図書館。「アルカス土浦」という素敵な名前がついています。1階は市民ギャラリー。さまざまな芸術作品が見られます。絵本の読み聞かせのお部屋や学習ブースがあり、小さなお子さんから人生の先輩まで人気のスポットです。

文教大学卒業
初家34さん

私が住んでいる町、鴻巣市の自慢は「鴻神社」です。車通りが比較的多い旧中山道の交差点に突如現れる厳かなたたずまいが印象的です。子授け(子宝)・安産のご利益があるとされ、妊婦さんとそのご家族がよく訪れています。春は桜が咲き乱れ、夜はライトアップもされる写真映えもするスポットです。「こうのとりの伝説」も眠っていますよ！

文教大学卒業
押野理子さん

駒込は染井よしの桜の発祥の地。2021年はコロナ禍で花見でにぎわいはなかったけれど、花はかわらずににぎわいをみせてくれ、心を和ませてくれます。花見の季節になると越谷校舎の元荒川を思い出します。

文教大学卒業
きぬえさん

紹介したいわが町は“池上”です。約30年前に池上から旗の台の文教大学付属高に池上線に乗り通いました。本門寺を中心に新旧入り交じるお店が並び、お会式や盆踊りも盛大です。駅も様変わりしましたが、本門寺周辺は四季を感じられ、鳥も多くリフレッシュできます。

文教大学卒業
池上本門寺さん

厚木市に3年間住んでいますが、全国で住みたい町一番になりました。全国で女性が働きやすい町で三位になりました。鮎と豚肉がおいしくて、農業もさかんで、自然が多い所でもあります。夜は星が美しく、空が澄んだ町です。

文教大学卒業
原 麻里子さん

埼玉県所沢市に住んでいます。所沢市にはクールジャパンの拠点「ところざわサクラタウン」があり、特にアニメ好きの人に人気です。最寄りの東所沢駅からサクラタウンへ向かう道にはアニメの「光るマンホール」があるのもちょっと自慢です。

文教大学卒業
信太 花子さん

群馬県は「焼きまんじゅう」が有名・おすすめ。また、伊勢崎市には「伊勢崎もんじゃ」などの地元グルメもあります。群馬県に來たらぜひどうぞ。

文教大学卒業
田島 康太郎さん

墨田区は、世界のスカイツリー、新日本フィルハーモニー交響楽団拠点「すみだトリフォニーホール」、旧安田庭園の刀剣館、国技館、江戸東京博物館、忠臣蔵吉良邸跡、吾妻橋からお台場への水上バスなど、歴史、文化、芸術が楽しめます。

立正女子大学短期大学部卒業
竹内 京子さん

私の家の近くに「大山ハッピーロード」があります。今は一部工事しています。都内でも「安い」という声があります。大山駅から、おてすぐに、ハッピーロードがあります。

立正学園女子短期大学卒業
飯塚 京子さん

文教時代の思い出

在学中は、よくラーメンを食べに行っていたなあ。天狗のマーボーラーメン、ありんこのサービスラーメンは美味しかったなあ。

文教大学卒業
兼崎 弘章さん

アンケートにご協力いただき
誠にありがとうございました！

読者アンケート・投稿のお願い

『あやなり-Bunkyo Pride-』は、皆さまからの声をもとに制作しています。同封の“アンケート用紙”やWebサイトからご意見をお寄せください。「文は人なり」の投稿もお待ちしております！

「文は人なり」次回のテーマ

私の元気の秘けつ

近況や文教時代の思い出など、テーマ以外の投稿も大歓迎です！



編集後記

学園広報誌は今年度リニューアルいたしました。保護者の皆さまへお渡ししていた広報誌(『BP(Bunkyo Pride)』)と、卒業生の皆さまへお送りしていた広報誌(『あやなり』)を合体し、学園内のさまざまな情報を盛り込んでお届けします。在学生・卒業生・教職員の活躍や学園各校の取り組みについて、お楽しみいただけますと幸いです。今年は、11月5日(土)に東京あだちキャンパスで校友の交流イベントも行います。皆さまにお会いできますことをとても楽しみにしています！ (理事長室 校友会担当)

あやなり-Bunkyo Pride-2022
文教大学学園広報誌

発行日：2022.7.8
発行：文教大学学園
編集：学園本部 理事長室
制作：文化工房

※ 送付先住所は、各校友会団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL:03(3783)5511(代) FAX:03(3783)6109
E-mail:alumni@stf.bunkyo.ac.jp